

# 長野県神社庁教化部調査委員会

## 御朱印に関する調査

### 「第2回 長野県神社御朱印展」来場者アンケート集計結果報告

#### 1. 目的

一般の来場者が御朱印をどう捉えているかを明らかにすることで、今後、神職個々が「御朱印とは何か」を改めて考える契機とすることを目的とする。

#### 2. 調査対象

「第2回 長野県神社御朱印展」（令和4年11月2～8日・四柱神社）来場者

#### 3. 調査方法

受付で来場者全員にアンケート用紙を配布。出口で記入してもらい、回収。

#### 4. 回収率

約88%（来場者1,470人中、1,294人が回答）

#### 5. 調査内容

##### 1) 来場者情報

- ①性別・年代
- ②居住地

##### 2) 本展について

- ①来場のきっかけ
- ②本展の評価

##### 3) 御朱印について

- ①収集の有無
- ②御朱印の魅力とは

##### 4) その他、感想、意見、要望等自由記述

#### 6. 集計結果

##### 1) 来場者情報

- ①性別・年代 別紙1
- ②居住地 別紙1

##### 2) 本展について

- ①来場のきっかけ 別紙2
- ②本展の評価 別紙2

##### 3) 御朱印について

- ①収集の有無 別紙3
- ②御朱印の魅力とは ※同回答の多い順。抜粋

- ・参拝の証、記念、記録、思い出
- ・神社ごとに個性、味がある
- ・美しい、神々しい

- ・ 神さまとの縁を繋いでくれる
- ・ 心が癒される
- ・ 神社を参拝するきっかけ、目的になる
- ・ 清められた気分になる
- ・ 書き手によって変わる筆致
- ・ 神社の歴史を感じる
- ・ 集めると御利益がありそう
- ・ 限定、特別御朱印が好き
- ・ 神さまを知るきっかけになる
- ・ 二つとして同じものがないところ
- ・ 代々引き継がれている伝統文化や、神社を大切にしてきた祖先の力を感じる
- ・ 持っているとう神さまを近くに感じられる
- ・ 神社のパワーをもらえそう
- ・ 御札同様、御守替わりにして祀っている
- ・ 神職とやりとりすることで、その人柄にふれることができる
- ・ 心の拠り所
- ・ 参拝先で様々な人と出会える
- ・ 年を重ねるにつれ、遠方に出掛けて参拝が出来る喜びを心にも留める事ができる
- ・ 自分を見つめ直すことができる
- ・ その土地の神さまへの御礼の印
- ・ 神さま、自然とのふれあいを形にできるところ
- ・ 神社の魂が文字・印鑑に表れているところ
- ・ 直書きしているところを見るのが好き
- ・ 場所を巡ってその土地のものを知ることができる
- ・ 手書きの温かみや、墨の香り
- ・ 参拝の御礼、神さまへの感謝の念を忘れないこと
- ・ 日付を入れていただけること

4) その他、感想、意見、要望等自由記述 ※同内容の多い順。抜粋

- ・ 御朱印を頒布している神社がこんなに沢山あるとは知らなかった
- ・ 御朱印を受けに参加神社を巡りたいと思った
- ・ 御朱印というものを初めて知った
- ・ これまで収集していなかったが、御朱印巡りをしたくなった
- ・ 記念品が嬉しかった
- ・ 毎年開催してほしい
- ・ 実物の御朱印を展示して欲しい
- ・ 地図があると参拝し易い
- ・ 限定や特別御朱印も展示して欲しい
- ・ 拝受ガイドが分かり易い
- ・ 展示会場がもっと広いと良い
- ・ 各社の御朱印帳も展示して欲しい
- ・ 御朱印をまとめた本があると良い
- ・ 会場で御朱印帳へ記帳して欲しい
- ・ 全国の御朱印展も開催して欲しい

- ・社殿の写真写りが悪いパネルが数枚あった
- ・別の形で発展させて展示して欲しい
- ・神社の由緒、御神徳、御利益も知りたい
- ・ガイドにも社殿等の写真があると良い
- ・御朱印を頒布しているが、今回展示していない神社があった
- ・コロナの影響があると思うが、直書きに戻して欲しい
- ・派手で凝った御朱印が増えている。シンプルな御朱印に戻して欲しい
- ・御朱印の初穂料が値上がりした神社が多く、困っている
- ・頒布している全神社に、御朱印展に参加して欲しい

## 7. 所 感

### 1) 来場者情報より

60代以上が33%を占め、次いで50代以上が28%であった。年齢が上がるにつれ、御朱印への関心が高くなると思われる。男女差は、男性43%、女性56%で、女性の方が多く来場（回答）した。

居住地は39%が県外、36%が松本市内で、松本市を含む中信地域は48%であった。県外が多い理由としては、会場である四柱神社に県外から来る参拝者が多いことが挙げられる。松本城に近いこともあり観光客も多く、海外からの来場もあった。

### 2) 本展について

来場のきっかけの34%が「その他」であったのは、上記したとおり、四柱神社を参拝し、本展の開催を知って来場した「通りすがり」をキャッチできたことによるものである。マスコミの効果としては、新聞3社(22%)、テレビ1局(1%)で、全体の2割強を占めた。

SNSの効果は3%程度であった理由としては、発信量不足、来場者の6割が50代以上であり、情報源としてSNSの利用が少ないからではないかと思われる。

本展への評価は概ね高評価であり、7割が満足、ほぼ満足と答えた。

### 3) 御朱印について

7割以上が収集しており、通りすがりの来場が多いながらも、御朱印への関心が高い人が多かった。このことから、予め本展を目的とした来場者も一定数いるものと思われる。

御朱印の魅力については、「尊いもの」と捉えている記述が多かった。また、墨書を好む声や、拝受する際の神職とのふれあいを楽しみとしている声も多かった。

色鮮やかで技巧を凝らした御朱印を喜ぶ声がある一方、創意工夫をエスカレートさせるのではなく、原点回帰を望む声もあった。

### 4) その他、感想、意見、要望等自由記述について

「実物を展示して欲しい」「通常以外の特別御朱印も見たい」という希望が多かったことを受け、第3回（令和5年11月7-12日・佐久市あいとぴあ臼田）では、実物の特別御朱印も併せて展示した。

本展で御朱印を拝受できていると思っっている来場者も多くいた。こういった場合は、会場に詰めている当委員が「御朱印は〈参拝の証〉として受けるもの」と説明をし、理解を得た。

#### 5) まとめ

御朱印を拝受したい、収集したい、というニーズは依然として高いと感じる。御朱印を「尊いもの」と捉えている人が多い一方で、コレクションを目的とした人も多く、ネットで転売されている現状もある。収集目的であっても、神社を訪れる契機になっていることは間違いなく、神道教化の一助を担っている。しかし、もし、御朱印頒布が無くなり、参拝者が減ることがあるとするならば。「神社の魅力とは何か」「氏神さまとは何か」を見つめ直す機会になるのかもしれない。

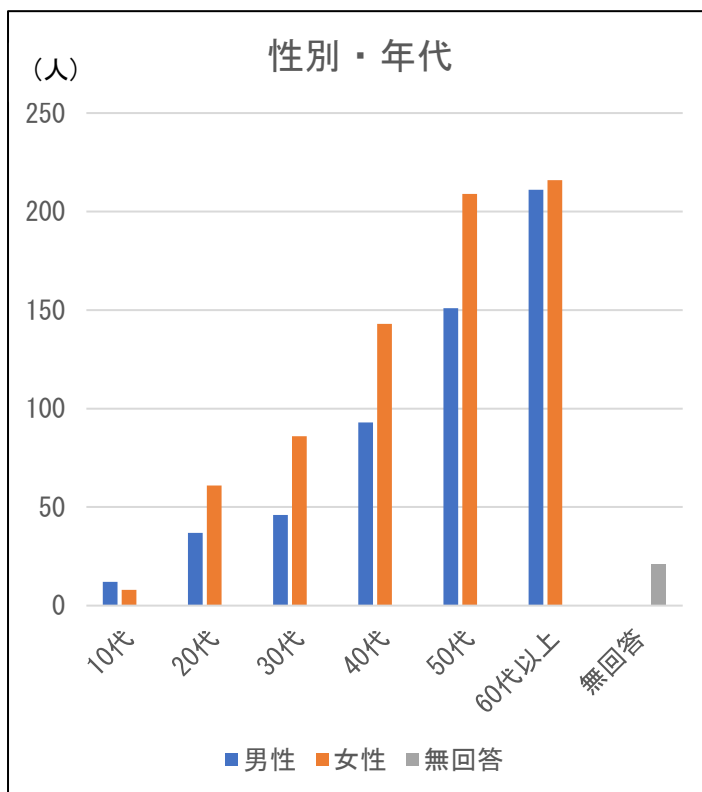
以 上

# 別紙1

## 1) 来場者情報

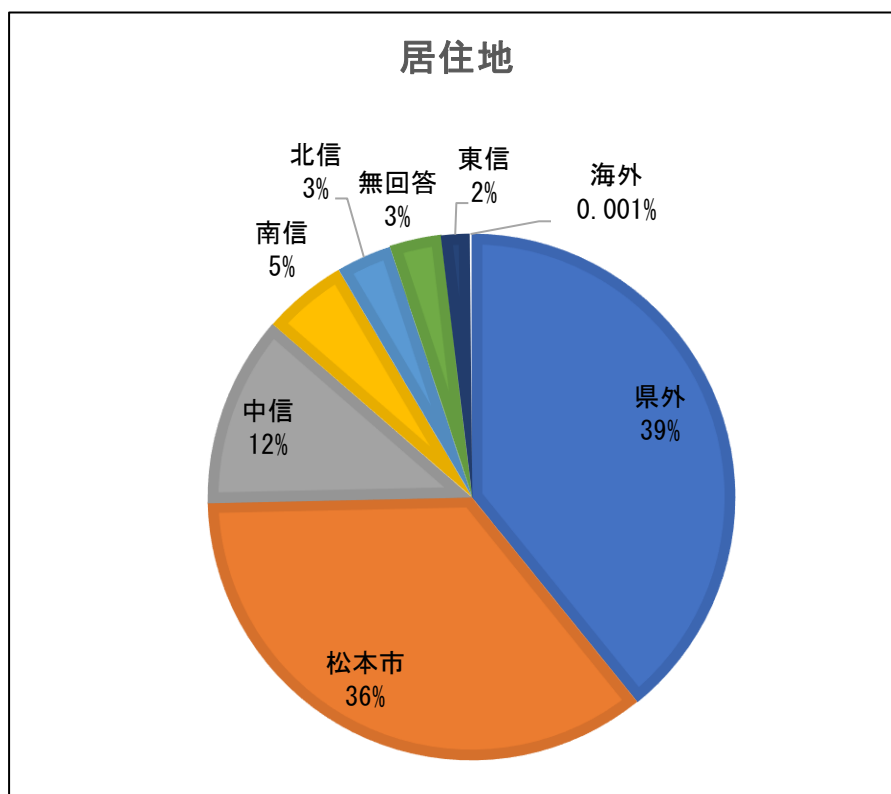
### ①性別・年代

	男性	女性	無回答
10代	12	8	
20代	37	61	
30代	46	86	
40代	93	143	
50代	151	209	
60代以上	211	216	
無回答			21
項目別合計	550	723	21
総合計	1,294		



### ②居住地

	居住地
県外	507
松本市	459
中信	152
南信	67
北信	44
東信	22
海外	2
無回答	41
合計	1,294

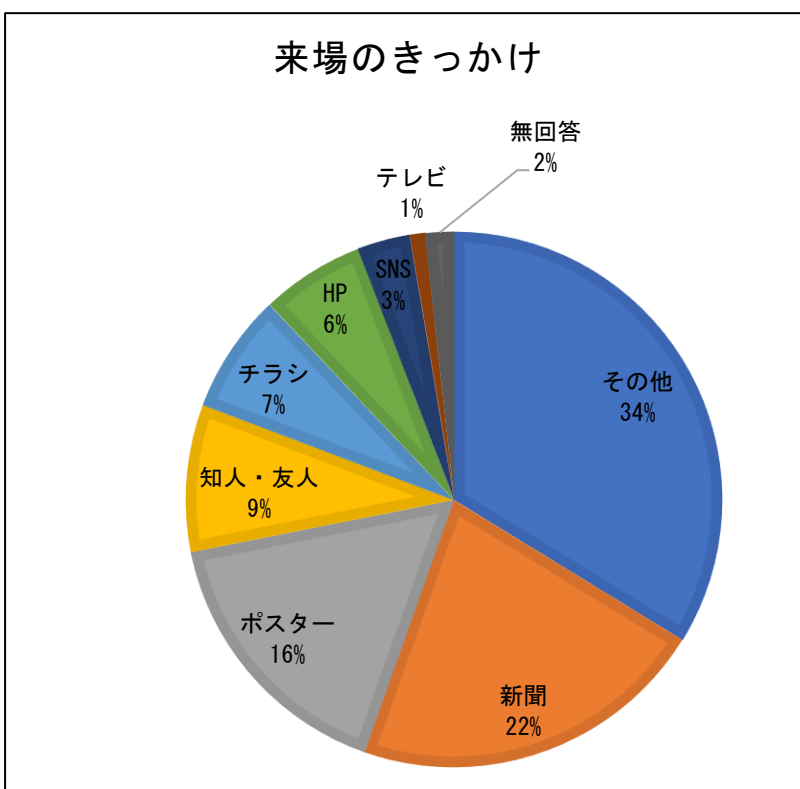


# 別紙2

## 2) 本展について

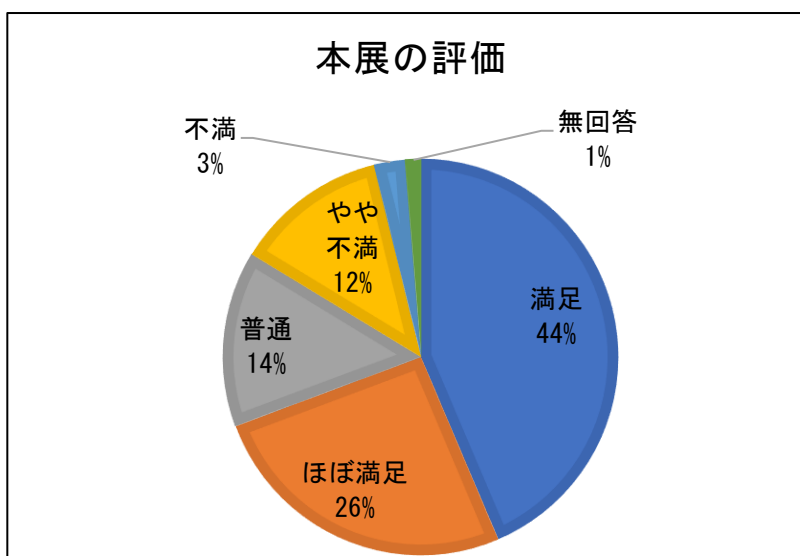
### ①来場のきっかけ

その他	437
新聞	280
ポスター	213
知人・友人	115
チラシ	93
HP	81
SNS	41
テレビ	12
無回答	22
合計	1,294



### ②本展の評価

満足	564
ほぼ満足	333
普通	186
やや不満	162
不満	33
無回答	16
合計	1,294



# 別紙3

## 3) 御朱印について

御朱印収集の有無

集めている	941
集めていない	344
無回答	9
合計	1,294

